

○ 高架下貸付はR 2年度末において、貸付可能な面積60,000㎡の内、47,000㎡を貸付済(約80%)

- ① 一般利用価値が高い駅前などは駐輪場・テナント等として貸付を行っており、未貸付地はない。
- ② 未貸付地は進入路が確保できないため、貸付困難な箇所が多い。

①貸付地例



②未貸付地例



①一般利用価値が高いため、土地解約のリスクが低い。

②一般利用ができないため、宣伝などの自助努力を通じて拡売することができない。

**⇒上記理由から、高架下利用については数値目標を定めるにはなじまないと判断  
中期経営計画においても目標は設定していない。**